

青少年美術展の審査会と受賞作品

最近、コロナ感染者数が下火になってきましたが、逆にインフルエンザ感染者数が県内でも増加傾向になり注意報レベルを越し、市内の小中学校でも学級閉鎖となっている中で、感染対策をしつつ開催した青少年芸術祭の展示部門（開催日：2月25日・26日、場所：ハーモニーホール座間 小ホール）ですが、今回の出品数は小中高合わせて663点（小学校385点、中学校239点、高校39点）あり、その中から、市長賞・議長賞・教育長賞・審査員特別賞・優秀賞・奨励賞が審査員（元三軌会会員の吉野光治先生、日本写真協会会員の高橋ぎいち先生）により、まずは、奨励賞が選ばれ、その中から、優秀賞、さらに各大賞（市長賞・議長賞・教育長賞・審査員特別賞）が選出されました。



座間市
マスコットキャラクター
ざまりん。



作品を審査する吉野光治先生と青少年指導員

受賞作品を撮影する高橋ぎいち先生



作品審査は上履き・シューズカバー・アルコール消毒等で感染防止、衛生面に配慮して行っています。



市長賞

「いつも通り」
座間高等学校2年
佐々木 楓実



議長賞

「無意識の手」
座間中学校1年
鶴間 愛理



教育長賞

「渡りろうかと
楽しかった思い出」
栗原小学校6年
橋本 咲愛



審査員特別賞

「ねえ、なんかわかった？」
栗原中学校3年
小田島 大輔

座間 中学校区 第29回青少健ふれあいまつり

R4.11.19

令和4年11月19日(土)に3年ぶりとなるふれあいまつりを晴天の下、関係者来場者含め800余名のご参加をいただき開催しました。

久しぶりの開催であり、ご協力いただく各団体の皆さまと一緒に忘れていたことやあらためて祭りの内容を確認しながら準備を整えました。当日は萩原会長にもご臨席いただき、開会式が終わると同時に各ブースに人が溢れ、昔遊びやガチャポン、ストラックアウト、バルーンアートや消防車の展示など、そしてふれあいまつり名物のフランクフルトにとん汁もスタッフが一休みもできないくらいに大人気でした。そしてお祭りを締めるイベント、来場者全員で行う〇×クイズで大いに盛り上がり祭りを終えることができました。

ふれあいまつりを主催するにあたり、会場を提供くださる座間中学校や先生方をはじめ各学校PTAやおやじの会、消防団、各団体の皆さまの前向きで熱いご協力に感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



西 中学校区 部活動体験を通じて笑顔の交流!

R4.12.3

12月3日(土)に開催された青少年フェスティバルは、小学6年生を対象に中学校の「部活動体験会」を行いました。

昨年度はコロナ禍だったために「部活動見学会」だったのですが、今年度は中学生のお兄さん、お姉さんに優しく教えてもらいながら一緒にスポーツしたり工作したり楽器に触れたり、子ども達のとても楽しそうな笑顔が印象的な活気溢れたイベントとなりました。

グループ分けをしてローテーションで校内、グラウンド、体育館と回り全ての部活を体験することが出来たので、中学生になった時の部活動選びに大いに役立ったのではないのでしょうか。

工夫を凝らしてくれた西中生の皆さんや先生方、そしてPTAの方々のおかげで、コロナ対策をしつつも部活動体験が出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。



東 中学校区 満を持して3年ぶりのフェスティバル開催

R4.11.27

東中学校区青少年フェスティバルは、令和2年度、3年度と連続中止となっていました。今年度はどうするか検討していく中で、今の3年生は、コロナ禍により入学以来様々な行事が制限された学校生活であったこと、青少年フェスティバルも未体験であったことなどを鑑み、3年ぶりの開催となりました。

しかし、3年のブランク、さらにコロナ対策の影響は大きく、かなりのアタフタぶりでした。協力者、消防関係者への対応、小学生への参加呼びかけも悩みました。また、懸念されていた大鍋カレーも復活!!大丈夫か!?

なんやかんやで、11月27日(日)、晴天の下開催。例年の倍の消防車両とはしご車の迫力&緊急出動のハプニング。定番のゲームコーナー、今回初のドッジビー大会、スリッパとばし、生徒会の〇×クイズ、校長先生とじゃんけん大会、そして締めは大鍋カレーと大盛況のうちに無事終了し、ホッとしました。

ご協力いただいた皆様、心より感謝申し上げます。参加してくれた生徒たち、たくさん的小学生、楽しんでもらえてよかった、ありがとう!!



栗原 中学校区 3年ぶりのフェスティバル

R4.12.10

令和4年12月10日(土)、3年ぶりに栗原中学校区青少年フェスティバルを開催しました。会場の準備や片付けは、生徒の皆さんが携わってくれました。

競技内容は、紙飛行機飛ばし、ストラックアウト、スカットボール、ポッチャ、モルックでした。特に、初めて取り入れた「モルック」やパラリンピックの競技にもなった「ポッチャ」は、参加者が何度も列に並び、楽しそうに挑戦していました。

終了間際にサプライズで、座間音頭を皆で踊りました。閉会式で、PTA会長から「何が一番楽しかったですか?」という問いに、「座間音頭が楽しかったです」との答えに安堵する指導員でした。

恒例の大鍋カレーは、コロナ禍の影響で提供できませんでしたが、栗原中学校のマスコットキャラクターである「くりまるくん」のクリアファイルを生徒の皆さんにプレゼントしました。

開催に当たりご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



相模 中学校区 コミスクと合同開催 ～コミス“ク”リスマス～

R4.12.17

3年ぶりの「相模中学校区青少年フェスティバル」が6中学校区の最後12月17日(土)に開催された。今回は、金子校長先生の発案でコミュニティ・スクールとの合同開催になり“動員数座間中超え!”を合言葉に、過去最大級のイベント数と広報活動を展開。指導員は木工室を会場に、高さ1m80cmの大型ざまりんパネル2枚を設置した記念撮影コーナーと、スマートボールに景品のオリジナル缶バッジを用意し、三丁目社協さんの電撃イライラ棒と机を並べた。コミュニティ・スクールは校庭・特別教室・体育館で様々なゲームやステージで来場者を迎え大盛況。結果動員数520人と座間中には及ばなかったが大健闘。閉会後関係スタッフへの挨拶では校長先生も満足しておられたww。コロナ禍前の“強力アイテム”ポップコーンやわたがしの提供は感染防止対策として見送られたが、今年はまた関係団体さんにご協力をお願いし復活できるよう願っている。“食”のないお祭りは一味足りないと思うのだ。



南 中学校区 ジャンケン強すぎ小川校長!

R4.12.3

令和4年12月3日(土)、青空のもと青少年フェスティバルが開催されました。相変わらずのコロナ渦の中でもありましたので、昨年に引き続き小学生の参加は見送らせていただきました。PTAそして他学区の指導員の応援もあり、フリースロー、スカットボール、スリッパ飛ばし、ストラックアウト、キックターゲットの各ゲームに子どもたちの喜びの声が聞こえてきました。

成績発表後の恒例の校長先生とのじゃんけん大会は盛り上がります。3回行いましたが、最後は校長先生が勝ってしまいました。どことなく聞こえてくる「あ〜あ」のため息!さすが校長先生、相手の生徒に勝ちを譲っていました。

恒例のお昼のカレーですが、手作りカレーをと思い会議の中で何度も話し合いましたが、やはり難しいのではとの結論になりましたが、PTA側から「ぜひカレーを食べさせたい」という強い要望があり、試行錯誤した結果、「キッチンカレー」をお願いする事にしました。初めての試みで不安はありましたが、やはり美味しく物珍しく楽しめたのも確かです。194名の参加者があり、来年度は小学生にも声掛けをし、より一層楽しめるフェスティバルにしたいと思います。



AED訓練を実施しました

今回は「今後の活動に役立つ内容」を検討し、行政の方々にご協力を頂き日常生活でも怪我や不慮の事故等に遭遇した場合、一次救命救急処置ができるように人形を用いて胸骨圧迫（心臓マッサージ）の体験とAED（自動体外式除細動器）の取扱いの訓練・指導を受けました。

また、ここ数年各地で想像以上の自然災害が発生し我々の地域でも防災について考える必要があるのではないかと思います。まずは避難所開設における簡易テントの組立方法や備蓄倉庫にはどのような防災グッズが保管されているのか確認をしました。

参加者からもとても「身近な内容であり良い体験をした」などの意見を頂き、いざと言う時にすぐに役立つものでした。



レトロゲームで大盛況

令和4年11月13日(日)、第37回座間市民ふるさとまつり「夢あふれる 輝く未来 ZAMA!」が開催されました。

これまでの2年間は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となり、3年ぶりの開催に青少年指導員も満を持しての参加となりました。

輪投げに何度も挑戦する可愛い姿や、魚の絵を丁寧に描く姿と「釣れたー!」と喜ぶ笑い声、昭和のレトロゲーム「スマートボール」は指導員が手作りしたもので、ゴルフボールが穴に落ちるたびに盛り上がり、令和のちびっこたちにも大人気でした。

元気いっぱい子どもたちとのふれあいに、青少年指導員も大いに楽しんだ一日となりました。遊びにきてくれてありがとう!

また来年も一緒に遊ぼうね!



令和5年座間市成人式

新たな門出を祝うかのような晴天に恵まれた1月9日（月・祝）の成人の日、ハーモニーホール座間大ホールを会場に令和5年座間市成人式が開催されました。今年度の新成人は1,201人で、当日は778人が式典に参加しました。座間市成人式実行委員会が企画した今回初めてとなるアトラクションの部では、座間市出身プロボクシング選手の井上尚弥さんからのビデオメッセージやお楽しみ抽選会、中学校区ごとの集合写真の撮影がありました。

青少年指導員は、当日は会場内の整理などのお手伝いをさせていただきました。スーツや袴、晴れ着を身にまとい、大人の第一歩を踏み出した凛々しい姿の成人たちに「おめでとう」と声を掛けながら温かく見守りました。



編集後記

コロナ禍での行動・生活が日常となって丸3年になります。まだ先の見えない状況でも、学校や地域では少しずつ以前の活動が戻ってきているようです。今後指導員の活動も活発になり、「きずな」の誌面で様々な活動報告ができるようになることを願っています。

また、卒業式を機にマスク着用のルールが変わるかもしれません。（屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねられるのか？）

何はともあれ、みんなの笑顔があふれる卒業式を迎えられますように。

〈きずな編集部：山田 映子〉